埼玉県ＩＣＴ活用　実践事例

ＩＣＴで　授業　をＤＸ！

学年　小学校５年　　教科など　国語

ワードクラウドでみんなの考えを見える化！

使用するアプリケーション等
・Google Jamboard
・テキストマイニング
（ワードクラウド）

単元・題材　やなせたかし　アンパンマンの勇気

本時の目標　本文を読み取り、「やなせたかし」に対する自分の考えを書こう。

ＩＣＴを活用することで　できること
・Google Jamboardを活用することで、意見・捉え方・アイデアを共有しながら考える事ができる。
・テキストマイニングを用いてその場で学級全体の読み取りの傾向を整え、分析・可視化していく。
〇従来、授業後に感想文を回収し、後に教師が読み、整理、まとめ、返却・・・・・・としていたところが、これらの分析を１つの授業内でリアルタイムに行うことで、児童の思考を止めることなく、感想文を発表・共有し、さらに可視化することができる。

ＤＸ前（ＩＣＴを使っていなかった頃は・・・）

◎第１時

１　導入
①本文を読む

２　展開
①本文を読み感じたことや感想を発表する。
●友達の意見と比較しながら聞く

②友達の発表や意見交流を踏まえ、自分の感想や意見を再度見直す。

３　まとめ
①感想文をノートにまとめる。
●教師に提出。

〇提出された感想文のチェック・添削・良い感想文をピックアップしておく。

◎第２時

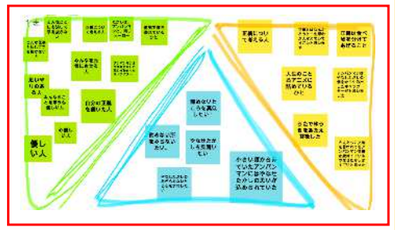
１　導入
①前時の感想を踏まえ、全体の意見を分類していく。
・
・
・

DX!

ＤＸ後　（赤字はICT活用場面）

１　導入
①本文を読む。
②自分の感想や思ったことを箇条書きでノートにメモをする。
●文章にならなくともキーワードだけのメモでも良い。

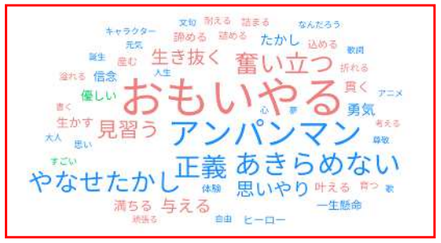
２　展開
①Google Jamboardを使い感想を共有・整理をする。
●班ごとにボードを作成し、班単位で意見共有を進める。
●緑がやなせたかし本人に関すること。
黄色がやなせたかしとアンパンマンの関係性から考えたこと。
青がやなせたかしのいいところ・真似したいところ。
と付箋の色を分けて共有する。
●自分のメモを元に自由に意見を書いていく。

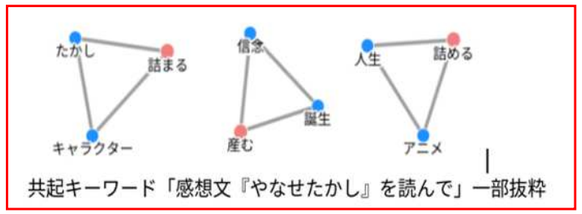


②①の活動で出た意見をテキストマイニングに入力し、分析をする。

User Local AIテキストマイニング

③ワードクラウド・共起キーワードをモニター等に表示し、クラス全体の読み取りの傾向を　分析していく。





ワードクラウドから、「おもいやる」という言葉を使う児童が多く、やなせたかしの思いやりの気持ちを受け取った子どもが多かったと言える。その他にも、「奮い立つ」「生き抜く」という言葉が大きく表示されている。やなせたかしの優しさだけでなく、力強さや信念の強さに気付けた子供も多かったということが読み取れる。物語の少し深い部分まで考えが及ぶことができたといえる。
共起キーワードをみてみると、「たかし」「詰まる」「キャラクター」の関連性が高いと判断された。他にも「信念」「産む」「誕生」の関連性や、「人生」「詰める」「アニメ」の関連性の高さをＡＩが読み取っている。
これらの結果から、アンパンマンというキャラクターアニメにはやなせたかしの人生や信念が詰め込まれた作品である。という、クラス全体の読み取りの傾向を、可視化させることができたといえる。

３　まとめ
①本時に共有した内容を踏まえ。感想をまとめる。（振り返り）

授業者から（成果・課題・留意点）
ＩＣＴを活用する事で、意見の共有から、分析までをスピード感を持って行えるようになった。児童の思考を止めることなく、共有・分析し、さらに可視化することでより説得力が出たと思う。そこから内容を深め、まとめまでつなげることができた。授業内で自分の意見がまとまらなかった子もこれらの分析を参考に、考えが新鮮なうちにもう一度チャレンジすることができていた。このスピード感もICTを活用する１つの良さだと感じている。
ただし、この学習では、学習者にある程度ＩＣＴの使用・操作技術が求められるため、日頃からの積み重ねや慣れが必須である。